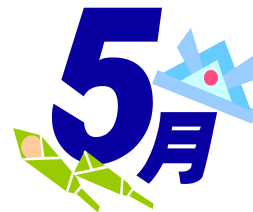


あじっ子だより

高松市立庵治小学校
令和4年5月号



新たなチャレンジへ

昨年度は、あいさつ日本一に挑戦して全校生が丁寧なあいさつができるようになり一定の成果を上げたのではないかと思います。校門で立ち止まってあいさつをすることも随分と定着し、4月に入学したばかりの1年生が、お兄さんお姉さんに声を掛けてもらいながらしっかりとあいさつをする姿が見られて心がほっこりしました。

さて、本年度も新たに日本一の学校を目指した取組をスタートしました。「全校生が少し頑張ればできること」「毎日続けられること」「できているかどうか分かること」という条件で6年生に意見を聞いたところ「整理整頓」を頑張ろうということになりました。さらに、どこを整理整頓を頑張ればよいか聞いてみると「靴箱」「ロッカーの中」「机の中や周り」といった意見が出ました。そこで、本年度は一番意見が多かった「靴箱の整理整頓」からやってみようということになりました。特に登校時、お昼休みに運動場で遊んだ後、そして下校時に気を付けて、いつ見ても全校生の靴が揃っているようにしたいと思っています。6年生には、「私たちが決めた目標が庵治小学校をよくしていく。」という気持ちで取り組んでほしいと伝えました。



子供たちの思い出の場所に

先日、あいさつ運動に来てくださっていたスクールガードのお父さんとお話をしていると、ご自分が小学校に通っていた頃のお話をしてくださいました。当時は、放課後も運動場で遊んでいたことや、いろいろな遊具があって楽しかったことをお話してくださいました。私も若い頃を思い出してみると朝から陸上や水泳の練習をしたりドッジボール大会の練習をしたり。お昼休みはプラスチックバットで野球をして放課後はサッカーをするということで一日中子供たちと遊んでいたように思います。私の記憶もそうですから、きっと子供たちの記憶にもたくさん遊んだことが残っているのではないかと思います。学校は教科の勉強も大切ですが、一番は社会性を育てる場所だと私は考えています。昨年庵治小学校に校長として赴任した時に24年前に受け持った子供からお花が届きました。東京に住んでいるけれど、新聞を見たお母さんから連絡をもらって知ったということでした。その子供に「先生は始業式の日いきなりドッジボールするぞと言って運動場に連れていったんで。」と言われ、「ほんまか。」と言いながら二人で笑ってしまいました。「友達や先生とよく遊んだな。」「けんかもしたけど仲良くなれたなあ。」と大人になった時に楽しい思い出が語れる場所に庵治小学校がなってほしいと願っています。

庵治なビーチクリーン

4月24日に「庵治なビーチクリーン」に参加してきました。あいにくの雨でしたが、かっぱを着て傘を差しながらごみを拾いました。鎌野の海水浴場の海岸で、どんなごみが落ちているのかを調査しながらの清掃でしたが、参加した人からは「以前よりきれいになっている。いろいろな団体の方が関わってくださっているからかなあ。」という感想が聞かれ、大変うれしいことだと思いました。今後の活動についてお知らせをしますので、庵治のきれいな海を守るためにぜひ子供たちが参加してほしいと思っています。

